



三井住友信託銀行  
取締役社長

大山 一也

### 「パーパス」を起点とした好循環の創造

大切なものを、未来を信じて託したい、そういった想いを実現するために、信託、そして当社は誕生しました。

信託には多彩な機能があり、私は、その中でも時間転換機能に着目しています。すなわち、想いや志を、未来に向かってお客さまの代わりに実現する力です。信託には未来を開く機能があるとも言えます。

今、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大が、社会の課題や矛盾を浮き彫りにし、時代の変化を一層加速させています。また、地球規模の気候変動リスクに対する動きは、社会インフラや産業構造を根底から変える可能性のある一大潮流となっています。

このように予測が困難な時代において、お客さまの未来を拓く的確なソリューションを提供するためには、新たな価値の創造が必要です。創造にはイノベーションが求められます。無から有を生むような革新的な技術開発だけではなく、異質なものの組み合わせが、イノベーションを生み出します。

当社は、従来から、多彩な事業の融合力を強みとしてきました。これからも、時代が変化しても揺らぐことのない当グループのパーパスを共通の想いに据え、専門性、創造力、

総合力を持った多様な人材が結集し、チームワークを発揮することで、新しいビジネスを開拓してまいります。

今、時流は、明らかに我々にあります。

翻って見れば、当社は創業以来、お客さまとの信頼関係に基づき、時代の要請に応じて進化を続けながら新たなビジネスに果敢に挑戦し、社会課題の解決による新たな価値の創出を通じて我が国の発展に貢献してきました。

不透明かつ不確実な時代にあるからこそ、信託銀行の理念や機能に立ち返り、我が国の金融・社会課題に真正面から取り組むことで、10年後の未来から、資金の好循環の担い手として選ばれる企業になる、それこそが、私が思い描く「The Trust Bank」の進化の姿です。

その進化の過程で、持てる力をこれまで以上に横断的に発揮し、新たな価値を創り、育て、お客さまや社会のニーズに応えることにより、最も信頼されるベストパートナーとして当社自身も成長する好循環を創り上げ、お客さま、社会、そして私たちの豊かな未来を花開かせてまいります。

2021年7月

三井住友信託銀行  
取締役社長

大山一也

